

裏面の話題

みんなの居場所の裏面も、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和8年4月24日(金)

みんなの居場所

この時期にならぬ、ゴールデンウィーク(GW)に何しようかと考えることが多くありませんか。毎年恒例の行事というか、風物詩というか、GW中こそ楽しめる時間があったりします。家庭でもGWの計画が着々と進んでいるという思いがあります。私はGWの休みが、先立って無いため、家で「一口一口」という時間が多くなっています。GWが終わると、学校では運動会の練習が本格化します。そのんびりしている暇は少なくなってしまう。

徒然

先日、我が家では早くも母がお茶を煎っていました。玄米茶やお茶の香りが漂います。毎年恒例となっているこの行事。そして「新茶」として淹れられたお茶を飲みます。味は「よかへ(毎年、色が薄く味が薄いんです)」として、生活の中で季節を感じてみています。子どもも季節は手伝わわりました。お茶の葉を煎ると、この作業は火傷の危険も伴うのですが、私は好きでした。軍手を付けて「ハイパン」の上で茶葉を採みながら煎ります。漂ってくるお茶の香りは季節の風物詩でもありました。

私の両親は二十四節気を大切にしておりまして、節氣に準備する食べ物や飲み物については必ず準備しています。私たちが子や孫は、その体験で背景にある歴史や民の願いを学んできました。保護者の皆様にはこの大切な縁はあります。子どもも産んだは始まりました。だからこそ伝えていかなければならない責任が教師にはあるのかもしれない。最近では製茶の工程を知らない人もいます。

本校の茶摘みは5月1日(金)を予定していますが、「夏も近づいて十八夜」は、今年初の月夜(十八夜)です。立春から数えて300日目あたり、霜が降りなくなる農作業の準備や茶摘みを始める目安とされる時期です。この時期の「新茶」は茶葉の質が高く、飲むには非常に良いとされています。GWはちょうどお高い日本茶や煎茶など、時間を過ごしてみても如何でしょうか。

【雑】メテアの影響

坪井川遊水地公園を歩いていると、幼稚園くらいの子がおもちゃの刀をもって「全集中、水の呼吸式、型水車」その瞬間、その子のお父さんが芝生に倒れました。鬼滅の刃の一場面ですね。私は思わず拍手を送っていました。

メテアの威力は凄いですね。そのうえは私達が子どもの頃は親が見せたことがない番組のNo.1が「00時だー全員集合だー」でした。それはなぜか？加藤茶さんの一発芸を子ども達が真似していたからです。「ち〇〇だ〇〇だ〇〇だ〇〇だ〇〇だ」(分かる人は同世代)。少々お品なキヤンを真似してはいた。教育上よくない番組として名前が挙げられた訳です。この番組はテレビで放送されていたので、保護者も一緒に見えています。このような内容も知っています。今はどうでしょうか。お子様が見ているネットの内容を保護者の皆様はしっかりと把握しているでしょうか。

自由に使えぬ端末を持たせるといって、実は私達大人も知らない危険な世界へと子ども達を誘っているのかもしれない。「考えますよ、今の時代、私達大人は危機感をもつ子ども達の利用するメテアについて把握しておく必要があるように思うのですが、保護者の皆様はどう思われますか。

シリーズ「自分を語る」#02

01月の研修開始直後、私達その他の研修「メテア」を始めています。先ずは、韓国の研修員との異文化研修です。韓国の研修員「チェン」は獣医さんです。本人の希望と研修時期等々から、異文化研修先は沖繩になりました。沖繩という観光地というイメージがありますね。私たちが一般人からすれば、でも違うんですね。あくまで防疫や地域の食の安全等が研修の主なものです。

沖繩での最初の行き先は、沖繩県庁交流推進課と連携です。「島インフルエンザ防疫演習」の打ち合わせのためです。なんでも、私は熊本県の幹部として来賓待遇で「ハ」実際の会場では来賓席に座っていました。しかも、私の隣にはチェンさんと沖繩県の幹部の皆様方です。しかも、目の前で行われている演習は、私にとっては完全な専門外の「島インフルエンザ防疫演習」です。私はただ、状況を耳で聞いただけでした。フウエーの緊張感の中で、この瞬間が湧いてきた澤田でした。

車に研修は続きます。行先は「沖繩県動物愛護センター」です。愛護センターという名称ですが、実施された業務は少し悲しいものでした。熊本市の動物愛護センターでは殺処分ゼロを目指してありますが、当時のこのセンターではかなりの数の処分が行われていました。大分猫の飼育が見つからない場合、成猫カス(二酸化炭素)による処分となります。そのための施設を私は担当として視察したのです。その時、私は単純に「生き物を飼う人は飼育主としての責任をもって欲しいものだ」と、強く思いました。

次の研修先は、農畜衛生環境研究所「ハ」研究室でした。個人的にはこれが一番面白かったです。チェンさんは「地域防疫」という視座、しっかりと視察していましたが、私は動物園の「コーナー」を見に行き気分でした。しかし、動物園というレベルではありませんでした。私が見た施設は、数百匹のハブが飼育されており、視察前に担当の方から「絶対に手を近づけないでください」と言われ、余計に恐怖心が湧きました。その担当の方は以前ハブに噛まれたらしく、その時のことを生々しく話していました。

「私が噛まれたのは、実は昨年です。初めて噛まれました。ハブの赤ちゃんが生まれて、親から食べられないようにするために、別のケージに移したんです。あまりにちっちゃいので、油断があったのでしょね。ちっちゃいから毒性も弱いなんで甘く思っていました。親指を噛まれましたね。1週間ほど生きた心地がしませんでした。肘から先がパンパンに張っちゃいました。」

簡単に書いていますが、ハブに噛まれた中でそんな話を聞くと、何とも言えません。そして、研究室を後にするのですが、道々どこにハブが潜んでいるかわからないなんて、妙に緊張感の中を移動するようになってきました。沖繩での研修は本格的にレンタカーでの移動でした。沖繩は狭いのですが、公共設備などの移動は時間がかかって勿体ないですからね。私個人としては「美ら海水族館」に行きたかったのですが日程的に無理な、チェンさんと相談の結果、平和に「美ら海水族館」を堪能することができました。(ついで)